

平成 25 年 5 月 1 日

食物アレルギーの人が「食べ物」に注意しなければいけないということを知っている人は多いと思います。では、食物アレルギーの人が注意しなければいけない「医薬品」があるという話は聞いたことがありますか？今回は「食物アレルギーと医薬品」についてご紹介したいと思います。

● 食物アレルギーの基礎知識

食物アレルギーとは、「食物に対する免疫学的な反応によって生じる好ましくない現象」と2012年のガイドラインで決められており、食べた場合だけでなく、皮膚接触や粉末を吸入した場合も含まれます。また、「食物による好ましくない現象・症状」のうち、食物に含まれる毒などの化学物質による症状は除かれ、免疫細胞が症状に関与しているものに限られています。

● 日本における食物アレルギーの実態

日本では食物摂取後 60 分以内に起こった即時型アレルギー（じんましん、アナフィラキシーなど）で医療機関を受診した人数に関する全国調査が 3 年ごとに実施されています。2011 年の報告によると、発症のピークは 0 歳児で全体の 29.3%であり、その後急激に患者数は減っていき 3 歳までに 66.3%、8 歳までに合計 80.1%をしめると言われています。ただし、20 歳以上の成人も 9.2%を占めるとされ、成人での食物アレルギーにも注意が必要です。

食物アレルギーの 3 大原因食物は鶏卵(38.7%)、牛乳(20.9%)、小麦(12.1%)ですが、年齢別に原因となりやすい食物が違ってくることも分かっています。

	0 歳	1 歳	2-3 歳	4-6 歳	7-19 歳	20 歳以上
1 位	鶏卵	鶏卵	魚卵	ソバ	果物類	小麦
2 位	牛乳	魚卵	鶏卵	鶏卵	甲殻類	甲殻類
3 位	小麦	牛乳	ピーナッツ	木の実類	小麦	果物類
4 位		ピーナッツ	牛乳	果物	鶏卵	魚類
5 位		果物/小麦	小麦	魚卵	ソバ/魚卵	

食物アレルギーの症状

1. 皮膚の症状

かゆみ、じんま疹、発赤、湿疹

2. 眼の症状

充血、かゆみ、涙、まぶたの腫れ

3. 口、のどの症状

腫れ、イガイガ感

4. 鼻の症状

くしゃみ、鼻汁、鼻づまり

5. 呼吸器症状

息が苦しい、声がれ

6. 消化器症状

腹痛、吐き気、嘔吐、下痢

7. 循環器症状

ドキドキする、蒼白

8. その他の症状

頭痛、ぐったり、意識障害



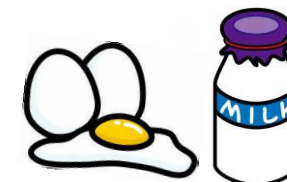
● 食物アレルギーで注意が必要な医薬品

医師・歯科医師から処方される医療用医薬品やドラッグストアなどで購入できる一般用医薬品の中には食物成分を含んでいるものもあります。下の表には、鶏卵アレルギー、牛乳アレルギーの患者で特に注意しなければいけない医薬品の一部を載せています。食物成分由来の医薬品に加え、医薬品の製造過程で、アレルギーの原因になるカゼインや乳糖が混入される医薬品もあるため、注意が必要です。

	商品名	薬効分類
鶏卵	アクディーム	消炎酵素
牛乳	タンナルビン、エンテロノン、ラックビー	整腸剤
	アミノレバン EN 配合散、エンシュア・リキッド、ラコール	経腸または経口栄養剤
	シムビコートタービューヘイラー、アドエアディスクス、セレベントロタディスクなど	気管支喘息治療薬（吸入薬）
	イナビル、リレンザ	インフルエンザ治療薬（吸入薬）

また、ドラッグストアで医薬品を購入する場合には、薬剤師に相談の上購入し、添付の説明書で「してはいけないこと」の欄にアレルギーについての注意書きがないかを確認してから使用することで、アレルギーを事前に防ぐことができます。

この他にも、歯科の処置で使われる塗布薬で牛乳アレルギーが起こるなど、様々な医薬品による食物アレルギーが知られています。



● ワクチン接種による食物アレルギー

ワクチン接種によっても食物アレルギーが起こることがあります。特に、鶏卵、牛乳にアレルギーがある場合は、注意しなければいけない場合があります。ただし、食物アレルギーがあるからといって、ワクチンを接種できないというわけではありませんので、受診時に医師に相談しましょう。

参考

薬局 Vol. 64 No. 3 (2013) 食物アレルギー

